

研究だより

1 第7回 研究授業より学んだこと

（令和4年9月29日（木）6校時 ひまわり2組 第3学年「重さ」 授業者 矢野 由美 教諭）

【協議会より】

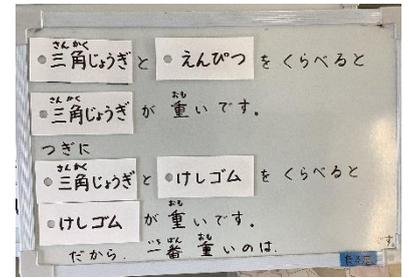
①子どもの問いを生かす手立てについて

- ・指示が分かりやすい。
- ・算数コーナーで興味を持たせるなど学習環境が工夫されていた。
- ・天秤作り，クイズ等から本時へのめあてにつなげていた。
- ・児童の実態を把握し，安心して学習できる声かけがたくさんあった。
- ・挑戦問題が本時の最後に出されたが，子どもにとってよいタイミングだった。



②タブレットを活用した児童同士の意見交流を深める学習展開について

- ・授業の導入でタブレットの練習問題をすることで，子どもたちは集中したり気持ちを切り替えたりすることができていた。本時で大切な「同じ物で比べる」という大切な考えを復習して，次のステップで生かせるのもよかった。
- ・「動物の重さ比べ」の映像をみて比べ方の手順を確認する，ホワイトボードで話型を示すなどの支援がよかった。子どもたちが順序立てて理解できるように工夫されていた。
- ・1円玉と1グラムはつながっていたが，1円玉20個が20グラムと置き換えて考えるのは難しそうだった。1円玉を操作しながら3枚だから3グラムというように教師と一緒に考える方法もあった。



【指導助言】（山田校長先生）

- ・二人の個性は違うが，先生がよく理解してその子に応じた適切な指導をしている。
- ・教室が子どもが作業しやすい形になっていて，学習した物・振り返れるものがつねに掲示してある。落ち着いて学習できる環境が整っている。
- ・矢野先生は言葉遣いがきちんとされており，指示が明確である。
- ・二人ともタブレットを使った学習に意欲的である。
- ・授業計画が綿密にできており，本時の一時間でグラムの単位で表すところまで到達できた。
- ・「3つの物を天秤で比べるのは煩瑣なので，もっと簡単に正確に比べられる方法はないか？→単位を使って比べよう。」という流れが子どもにとって分かりやすい。
- ・学校の課題として自分の思いを説明できる力を付けていきたい。問いかけに対して言葉で説明することが難しくても，少しずつ考えたことが言えるようになってほしい。

2 今後の予定

（令和4年10月13日（木）6校時 第5学年 授業者 酒井 早希 教諭）

* 学園研修になります。呉市教育委員会から，小林 明子指導主事先生に来ていただきます。